

# 2023年度 自己評価

2023年度 テーマ

ともにつむぎ出す～希望の中で

- ①子どもの声大切にされる保育
- ②共感し合える家庭との繋がり
- ③多様性を尊重し合う保育者集団

以下の項目ごとの4段階

A・・・よく出来た

B・・・出来た

C・・・あまり出来なかった

D・・・まったく出来なかった

①子どもの声大切にされる保育		園としての評価
1	子どもの思いを大切に、愛情豊かに、応答的に関わるよう心掛けた。	A
2	子どもが自分で考え、自分で行動し、充実感が味わえるような関りや環境づくりを心掛けた。	A
3	子どもが自分の気持ちを表現したり、友だちの気持ちに気付き関わり合う事が出来るよう意識して働きかけた。	A
4	一人ひとりの心身の状態を把握し、子どもの人権や、個人差を尊重して保育するよう心掛けた。	A

保護者からの意見・感想（連絡帳にて）

・1人で遅くまで待たせていると思うと申し訳ない気持ちになりますが、たくさんの先生に可愛がられ私も幸せな気持ちになり気が楽になりました。

・(オムツかぶれを防ぐためパンツに替えたところトイレでできるようになった)子どもの事を一番に考え臨機応変に対応してくださって感謝です。

・だめ！と注意する前に失敗することを見守ってくれ失敗する経験もさせてくれたことで、何でもやってみよう！と伸び伸び過ごすことができました。

・(トラブルについて)子どもの話がどこまで本当か分かりませんが、「やめて」と促すのではなく、止める事を優先すべき状況だったと思います。先生の対応は、納得いくものではないと思っています。

・思う存分泥で遊ばせてくれるので助かります。着替え等先生達も仕事が増えて大変な中、それでも泥遊びをしてくれてありがとうございます。

②共感し合える家庭との繋がり		園としての評価
1	保護者と、積極的にコミュニケーションを取り、子育ての心配や悩み等を、安心して話せるような関係づくりを心掛けた。	A
2	園の方針や保育の意図等を理解してもらえよう、具体的に分かりやすく保護者に説明することを心掛けた。	B
3	保護者の考えや疑問、提案等に真摯に向き合い、丁寧に対応することを心掛けた。	B

保護者からの意見・感想（連絡帳にて）

・とにかくお友達や先生方が大好きです。日々先生方が寄り添い温かく見守って下さって幼稚園は第2の我が家のように感じています。

・懇談会で同じ悩みを抱えた保護者の方々のお話を聞いて心強くなりましたし、安心もしました。

・初めて親子礼拝に参加しました。子ども達があのように毎週礼拝をしていると思ったら素敵な時間だと思いました。

・ブログで友だちと遊んでいる様子を知ることができて嬉しいです。

・園日より等保護者宛の手紙の文言に気になるところがあります。受け取る側の気持ちに配慮して欲しいです。

・先生方がいつも「一緒にがんばりましょう。」と、言ってくださる”一緒”という言葉が好きです。本当に一緒に子育てしてもらっている感覚になります。

・子どもがやって欲しい事、嬉しい、欲しい、行きたい、楽しい等色々な感情を表現できるようになってきました。そしてその思いを親だけでなく先生方とも共有できる事を本当に嬉しく思います。

③多様性を尊重し合う保育者集団

園としての  
評価

1	一人ひとりの職員と積極的関わり、個性や人柄、考え方等互いに理解し合える関係を築いた。	A
2	それぞれの保育者が、得意なことや好きなことを活かし、生き生きとやりがいを持って保育に当たることが出来た。	A
3	ひとつの家族として、職員同士が信頼し合い、活発に意見交換をしながら、より良い保育を目指して連携することが出来た。	A
4	積極的に研修に参加し、保育者同士で共有しながら、学びを深めようと努力した。	B

●総合評価●

2023年度のテーマ 『ともにつむぎ出す～希望の中で～』

①子どもの声大切にされる保育

◎子どもに寄り添った丁寧な保育

それぞれの保育者が、子どもとの信頼関係を結びながら安心の中で成長できるように、子どもの声に耳を傾け、気持ちに寄り添う事を意識して保育に当たることが出来た。また、子ども一人ひとりの発達の状況や個性、園生活の様子など、情報共有する事によって、担任だけではなく職員皆が把握し、関わっていくことを意識して保育することが出来た。

◎子どもの主体性を尊重する保育

子どものやりたい気持ちを大切にしながら遊びを支えていくことが出来た。また子どもの興味関心に合った活動を提供して、遊びが広がったり深まったりできるよう進めていくことも出来た。今後は、更に保育者同士で連携することで、好きな遊びがいつでも楽しめて継続的に行っていけるよう工夫したり、子ども達が主体的に遊びを深めていく為に何が出来るかを保育者間で話し合いながら環境構成を見直していきたい。

②共感し合える家庭との繋がり

◎保護者とのコミュニケーション

様々な保護者と信頼関係を築けるよう、それぞれの保育者が積極的に保護者と関わるようにしてきた。日々の園生活の様子や行事での子どもの様子など、保護者と話す機会を意識的につくることで、子どもの成長を喜び合う事が出来、より信頼関係が深まったことを感じる。一方で、やり取りが不十分な家庭もあり、意思疎通が円滑にいかず不信感に繋がってしまう事もあった。相談やご意見を頂いた際、共に考えたり、丁寧に対応したつもりでも、その思いが保護者に届いているか、安心してもらえているのかどうかをしっかりと確認していきたい。特に、その後のコミュニケーションは欠かさずに、丁寧に信頼関係を築き、同じ気持ちで子どもの育ちを見ていけるように、より一層意識していきたい。

◎保護者への情報発信（園だより、まど(写真等による保育通信)、ブログ、クラス懇談等）

月に1回程度発行する『まど』や毎日更新するブログでは、子ども達の生き生きとした様子や、保育者の思い等を発信することが出来、保護者からも反響があった。また、クラス懇談では、担任が話をするだけでなく、保護者にも話してもらうことで、皆で子どもの育ちを分かち合う良い時間となった。仕事等で、懇談会を欠席する保護者も多い為、伝えたいことは紙面にまとめて配布し、確実に全員に伝わるように工夫したことで、園の方針や考えを理解してもらえたと感じる。

園だよりは、主に毎月の出来事やお知らせを掲載しているが、説明不足や配慮の掛ける表現等があり保護者からご意見を頂いた。より分かりやすく、様々な立場の保護者に寄り添った園だよりになるように心がけて今後も発行していきたい。

◎子育て支援

今年度は、地域開放『わんぱく広場』を10回行い、合計で59名の親子が来園した。自由に園内の遊具で遊びながら、園児との触れ合いもあり、楽しんで参加していた。継続的に参加する親子も多いので、徐々に場に慣れて次第に伸び伸びと遊ぶことが出来ていた。育児についてや幼稚園の集団生活について等、保護者から相談を受けることも多く、地域の親子と繋がることの意味を感じる機会となった。子育て相談『子育てカフェ』は、わんぱく広場の参加者からの希望でその時間の後にお話しする機会を持てた。地域の保護者が、いつでも話したいことを話せる場として活用していきたい。

### ③多様性を尊重し合う保育者集団

#### ◎保育者同士の情報共有と連携

掲示板や、LINEワークス等で、園児の情報や伝達事項等を共有し、把握した上で保育に入るよう徹底した。また、代表者会議や各クラス会議を毎週行い、情報共有だけではなく、よりきめ細かい保育を目指して、活動計画や個々の子どもへの関りについて話し合いながら進めていくことが出来た。しかし、話し合った上でも、それぞれの保育者の理解の仕方が違ったり、うまく連携が取れない事もある為、互いに発信したり、確認し合いながら今後も情報共有と連携に努めていきたい。

#### ◎個性を生かした仕事への取り組み

職員同士の関係の深まりにより、個性を互いに尊重し合う事が出来、それぞれの職員が、保育や職務の中で得意なことや好きなことを積極的に活かしたり、互いに頼り合いながら取り組んでいくことが出来た。保育者のそのような姿勢はそのまま保育にも繋がっていくものとし、今後は更に、子ども同士で個性を認め合ったり、得意なこと、好きなことをとことん楽しめる環境づくりを充実させていきたい。

#### ◎保育者の研修参加

園内研修では、当園の様々な保育場面での考え方や配慮事項などをまとめた『保育活動確認書』の内容を、1年かけてグループごとに話し合っ見て見直し、改訂版を作成した。保育の場面において、大切にしたい考えや注意すべき点を改めて確認し合う事ができ、良い学び合いの時となった。また、3年目になるミニ研修(小グループ研修)や4年目のエピソード記録は継続して行ってきた分レベルアップしながら学びを深め、共有することが出来た。学び合い高め合う保育者集団を目指して来年度も園内研の充実を図ってきた。

外部研修では、それぞれの保育者が積極的に研修へ参加し、学びを深められたが、その学び得た事を、他の保育者と共有する機会が持てなかった為、来年度に向けての課題とする。

今年度の評価反省を踏まえ、2024年度は以下のテーマと目標のもと、保育を行っていききたい。

## 2024年度のテーマ『漕ぎ出そう、奏でよう』

- ①子どもも保育者もわくわくする遊びの充実をめざして
- ②園や地域の個々の家庭と、心通い合う繋がりをめざして
- ③学び続け、刺激し合える保育チームをめざして